

令和3年度 学校環境緑化リーフレット

おかべの杜の物語

～地域と共に育むおかべの杜～

祝・全日本学校環境緑化コンクール

学校環境緑化の部・特選（文部科学大臣賞）受賞



埼玉県深谷市立岡部中学校



【1】岡部中学校 環境緑化の歴史

おかべの杜（もり）には、50余年にわたって地域の方々が育んできた物語があります。
普段、なにげなく涼をとる木陰にも、多くの人の思いがこめられています。
岡部中学校の環境緑化の歴史を紐解くと、そんな地域の方々の思いが見えてきます。

昭和41年 4月 1日 岡部・榛沢・本郷3校を統合し、岡部中学校開校

昭和43年 9月 1日 分教場より現在地に移転、開校式

昭和43年12月 1日 町制施行により、岡部町立岡部中学校とする

昭和44年 3月 校歌碑建立（43年度PTA）

昭和45年 3月 中庭池 完成（44年度卒業記念）

昭和52年 4月26日 学校緑化コンクール 県入選

昭和52年11月 7日 静心園（岩石園）完成
（49・50・51卒業記念）

昭和54年 4月15日 玄関前噴水池完成（53年度卒業記念）

昭和55年 2月20日 まなびやの園 完成
（54年度PTA・生徒会）

昭和58年 体育館南側花壇 完成

昭和58年11月 埼玉県学校緑化コンクール優良賞

昭和60年 3月28日 岩石園完成（昭和60年度卒業生）

昭和61年 8月31日 教室棟南側花壇完成
（60年・61年度PTA）

平成 元年10月 8日 第1回 コスモス祭り開催される

平成 4年 3月10日 増築校舎完成（PC教室、多目的室等）
中庭花壇完成（PTA奉仕作業）

平成 5年 埼玉県学校緑化コンクール 優良賞

平成 8年 3月31日 部室棟完成

11月30日 統合30周年記念式典、中庭駐車場、校門完成

平成16年 4月 1日 学校評議員の配置

10月24日 第59回国民体育大会秋季大会 銃剣道競技会会場となる

平成19年10月 学校緑化コンクール参加 134種の同定実施 樹名板作成

平成23年 5月31日 岩石園修復工事

平成23年 7月25日 花はなプラン
「岡中ふれあいガーデン」完成

平成24年11月 7日 庭園灯改修

平成27年10月31日 創立50周年記念式典・祝賀会

平成30年10月 給食室完成 北側駐車場造成

令和元年～2年 トイレ改修工事

令和 4年 2月25日 全日本学校関係緑化コンクール（学校環境緑化の部）

特選・文部科学大臣賞（全国第1位）受賞



【2】岡部中学校の環境緑化の取組

～おかべの杜（みどり）を育むプラン～

(1) 学校環境緑化に係る方針・目標

【学校経営方針】地域に愛され信頼される「新しい時代」の学校づくり

【緑化経営目標】地域と共に育むおかべの杜（みどり）

【緑化経営方針】

岡部中学校は、今年、開校 56 年目を迎えました。

地域と共にある学校として、これまで学校応援団、学校運営協議会等、地域とのつながりを大切にしていた学校づくりを推進してきましたが、令和 2 年度からのコロナ禍により、こうした地域とのつながりが薄れることが心配されています。

岡部中学校では、学校を取り巻く地域の環境や歴史について学び、学校・家庭・地域が一体となって環境緑化活動に取り組むことを通して、地域を大切に、持続可能な社会づくりに貢献することのできる「学校づくり」「ひとづくり」を推進します。

(2) 長期計画（学校緑化管理方針と管理上の課題）

・校庭の樹木や花壇の日々の管理は、全校生徒による清掃活動や緑化委員会を中心とした委員会活動 6・7 組（特別支援学級）生徒による作業学習などで行われます。

また、市事業「ふかや学校花はなプラン」による「ふれあいガーデン」整備も春・秋に行います。

・長期整備計画を策定・実施にあたっては、学校応援団・グリーンアドバイザー（元 P T A 会長・木本林業・木本幹男さん）のご助言をいただきながら、学校運営協議会・学校応援団と協議し、市教育委員会と調整の上、取り組んでいます。

・校庭周辺の木々は暑い中でも涼をとることができ、部活動の生徒には欠かせない存在です。

一方で、気候変動による台風等の大型化により、強風による倒木の危険性も高まっています。

そのため、令和元年から 5 年間で、高木・老木を中心に伐採・強剪定を行う計画をたてました。

しかし、岡部中学校の校地は広く、樹木数も 3 0 0 を超えるため、整備には高額な費用がかかります。学校予算には限りがあり、緑化推進に大きな役割を果たしていた P T A 環境整備もコロナ禍で 2 年続けて中止となるなど、計画実行がたいへん難しくなりました。

この状況を知った地元市議会議員、自治会長の皆様が市に働きかけてくださり、小島市長も本校を視察に訪れてくださいました。その結果、新たな予算措置をいただき、市教育委員会や道路河川課のスタッフの方々の協力もあり、校庭を取り囲む樹木の環境緑化整備を行うことができました。

このことは、岡部中学校が地域の皆様に愛される「おらが学校」であることを改めて実感させてくれました。こうした地域の皆様のご協力無くしては、今回の受賞は実現できなかったと思っています。関係者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

(3) 今年度の活動・計画

～地域を大切に、持続可能な社会づくりに
貢献する「学校づくり」「ひとづくり」の推進～

今年度は、日本教育公務員弘済会埼玉支部の学校研究助成を受け、上記テーマで研究実践に取り組みました。

これまで取り組んできた学校環境緑化活動を継続するとともに、SDG s や iPad の活用など、新たな活動にも取り組みました。



令和 3 年 12 月 2 年ぶりの「花はなプラン」

～おかべの杜（みどり）で学ぶということ～

岡部中学校で学ぶということは、おかべの杜で育つということ。

父母や祖父母が植えた緑、大きくがっしりと育った木々に囲まれ、地域の方々が手作りしてくれたベンチに座る。

暑い夏には涼をとり、時には雨風をしのいでくれる大きな木々。

そんな緑に囲まれて育つ中で、おかべの歴史、地域の空気が身体に染み込んでくる。

それは、優しく素直で、しっかりと大地に根を張った生き方を身につけるとのこと。

そんな思いを重ねて育まれた「おかべの杜」をこれからも大切にしていきたい。



【3】岡部中の取組について

今年度、岡部中学校は「新しい時代のおらが学校づくり」をテーマに、「地域に愛され信頼される『新しい時代』の学校づくり」に取り組んでいます。

本校のプールサイドを飾るシートには「地域と共に」の文字が掲げられていますが、地域の3つの中学校を統合し、畑の中に建てられた学校は、開校から56年目を迎え、いつしか大きな緑に囲まれた豊かな環境の学校となりました。

開校（統合）後、平成18年まで、本校は町にただ1つの中学校でした。そのため、様々な町の行事が学校の施設を使って行われ、緑化を含む学校の環境整備は、町の大きな支援を受けながら進められてきましたが、合併後は、新しく地域に移ってきた住民も増え、学校を取り巻く環境も大きく変化しました。

そうした中、岡部中学校の生徒たちは、先輩たちより受け継がれてきた伝統として環境緑化に取り組み、地域の方々との関りを深めてきました。そうした取組により、育まれた生徒の勤労精神や環境、緑化への関心は、本校の大きな「強み」であると考えます。

現在、岡部中が取り組んでいる学校環境緑化の取組は、このような考えに基づき、改めて、地域と共に学校の環境を整備する体制を整える「学校づくり」と、将来、地域の担い手となる生徒を育てる「人づくり」を進めようとするものです。

今後は、その「強み」を生かしながら、岡部中学校の豊かな緑が、将来にわたって学校の重荷となることのないよう、持続可能な環境緑化の仕組づくりを進めていきたいと思えます。

コロナ禍の厳しい状況は未だその出口がはっきりとしない厳しい状況にありますが、これからも、学習や部活動などの学校生活を充実させるとともに、この豊かな緑の中で、生徒がのびのびと活動する明るい未来を思い描きながら、学校環境緑化に取り組んでいきたいと思えます。



手作りベンチに整然と並べられた部活動の道具。「おかべの杜」の伝統が生きている。



■裏表紙写真 コロナ禍による分散登校の生徒を見送る職員(R2.5.29)
グリーンボランティアの皆さんと花壇の植え替え (R1)
藍の栽培・藍染め体験 (R2)

■表紙写真 おかべの杜で涼をとる (陸上部・R3夏)



岡部中学校は今年、開校 56 年目を迎えました。コロナ禍の厳しい状況の中、地域とのつながりが薄れることが心配されていますが、岡部中学校を取り巻く環境や歴史について学びながら環境緑化活動に取り組むことを通して、地域を大切に持続可能な社会づくりに貢献することができる「学校づくり」「ひとづくり」に取り組んでいます。